



ホームページ



QRコード

令和元年
臨時
京都市立伏見住吉小学校
611-5243
校長 村山 得太郎

令和元年 第1回学校評価質問紙回答より

向寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。運動会が終わり、そこで培った力を基に子どもたちは、さらなる成長を目指し、運動に学習に力一杯取り組んでいます。

さて、9月には学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。以下に質問紙回答結果の報告をさせていただきます。結果を踏まえこれまでの教育活動をふり振り返り今後の改善に努めていきますので、より一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

児童

質問項目	実現度	
学校の学習がよくわかること	8.1	
話をしっかりと聞くこと	8.1	
相手にわかるように話すこと	7.9	↑
自分の思いや考えを書くこと	8.3	
毎日、家庭学習をすること	8.6	↑
毎日、家で読書をすること	6.3	
楽しく学校に通うこと	8.7	
友だちとなかよし、力を合わせる	8.7	
友だちやまわりの人たちを大切にすること	8.9	
進んであいさつをすること	8.1	
場に応じた言葉づかいをすること	8.3	
学校や学級のきまりを守ること	8.6	
「早寝・早起き・朝ごはん」・排便・歯磨きの生活リズムを付けること	7.7	
運動に親しみ、健康な体をつくること	8.6	
食の楽しさを味わい、進んで食べること	8.6	
危険から身を守り、安全に生活すること	9.1	
こまったことがあったとき、家の人や先生にそうだんすること	7.9	
学校をきれいにするために、そうじすること	9	
学校・PTA・地域の行事に参加すること	7.4	↑

保護者

質問項目	実現度	
基礎的な学習内容を理解すること	7.4	
話をしっかりと聞くこと	7.1	
相手に分かるように話すこと	6.7	
自分の思いや考えを書くこと	6.4	↓
家庭学習の習慣を身に付けること	6.9	
読書の習慣を身に付けること	6	
楽しく学校に通うこと	8.4	
なかよく協力し合って学校生活を送ること	8.1	
相手の気持ちを尊重できる優しい心をもつこと	7.7	
進んであいさつをすること	6.9	
場に応じた言葉づかいをすること	6.7	
ルールを守り、マナーを身に付けること	7.6	
「早寝・早起き・朝ごはん」・排便・歯磨きの習慣を付けること	7.3	↓
運動に親しみ、運動能力を向上させること	7.6	
食の楽しさを味わい、進んで食べること	8	
危険から身を守り、安全に生活すること	7.7	
学級・学校便り・ホームページで学校の様子を知ること	7.1	
教職員に気軽に相談できること	6.7	↓
教室・廊下等の環境が整備されていること	7.3	
子どもに学校の様子を聞くこと	7.4	
学校・PTA・地域の行事に参加すること	6.9	↑
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てること	7.1	

10ポイント（10p）満点で表示。

H30 年度後期と比べ 0.3p 以上の上昇に↑ 下降に↓を記す。

地域

質問項目	実現度	
学校が児童の学力向上に向け取り組むこと	7.6	↑
子どもたちが、進んであいさつをすること	6.3	↑
子どもたちが、場に応じた言葉づかいをすること	5.9	↑
子どもたちがルールを守り、マナーを身に付けること	6.7	
子どもたちが運動に親しみ、運動能力を向上させること	6.7	↑
子どもたちが危険から身を守り、安全に生活すること	6.7	↑
学校便り・ホームページ等で情報を発信すること	8.7	↑
学校の教育環境が整備されていること	7.6	↑
教職員がPTA・地域の行事に参加すること	6.7	↑
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てること	7.1	↓

教職員

質問項目	実現度	
基礎的な学習内容を理解する力を付けること	7.1	
話をしっかりと聞く力を付けること	6.3	↓
相手に分かるように話す力を付けること	6.3	↑
自分の思いや考えを書く力を付けること	6.1	↓
家庭学習の習慣を身に付けること	7.7	
読書の習慣を身に付けること	7.7	
楽しく学校に通っていること	8	↓
なかよく協力し合って学校生活を送っていること	7.7	↓
相手の気持ちを尊重できる優しい心をもっていること	7.3	↓
進んであいさつをしていること	6.9	↑
場に応じた言葉づかいをしていること	6.3	↓
ルールを守り、マナーを身に付けていること	7.1	↑
「早寝・早起き・朝ごはん」・排便・歯磨きの習慣を付けること	7.3	↓
運動に親ませ、運動能力を向上させること	6.9	↓
食の楽しさを味わい、進んで食べていること	8	↓
危険から身を守り、安全に生活する力を付けること	7.7	↓
学級・学校便り・ホームページで学校の様子を知らせること	7.4	↓
子どもに関わるトラブルを家庭と密に連絡をとり、解決すること	8.1	↓
教室・廊下等の環境を整備すること	7.4	↑
家庭・地域と積極的に連携を図り、取組をすすめること	7.4	↓
学校・PTA・地域の行事に参加すること	7.1	↓
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てること	7.7	↓

結果分析について



全体の傾向

第1回学校評価の分析では、30年度の後期学校評価と比べて児童、保護者ともに実現度に大きな変化は見られませんでした。一方、地域では、8項目で上昇がみられました。しかし、教職員では多くの項目でpの幅に差はあるものの下降傾向です。

項目別に注目してみると、「楽しく学校に通うこと」が児童、保護者、教職員共に高い実現度でした。子どもたちの学校生活が充実していることが分かります。そんな子どもたちの様子が地域の方々にも伝わり、地域での実現度の上昇につながっていると感じています。また、毎年挙がる児童と保護者の「読書の習慣」の評価が全体に比べて低いという課題については、ここ数年間で確実に実現度が上昇しています。昨年度より本校では図書館活用を切り口とした授業改善に取り組んでいます。図書館活用の研究を進める中で、今年度も読書をはじめとするさらなる図書活用に取り組んでいきます。ご家庭でも読書の時間を設けたり、読み聞かせをしたりするなど、ご協力をお願いいたします。

児童の結果

児童の結果では、昨年度と比べてどの項目も大きな変化はなく、概ね高い実現度でした。ここ数年間でも高い実現度で推移していることから、児童は学年が変わり環境が変わっても学習や生活に前向きに取り組んでいることが分かります。それは、教職員だけではなく、保護者や地域の方々が様々な場面で支えてくださっているからであると感じています。

上昇項目に目を向けると、「毎日、家庭学習をすること」は8.6p（0.3p増）、また、「学校・PTA・地域の行事に参加すること」は7.4p（0.4p増）、とありました。この結果より、児童の放課後や休日の過ごし方が充実していることが分かります。今後も、児童の実態に合わせた課題の設定と家庭での励ましや見守りにより児童が家庭学習にしっかりと取り組むことができるようにしていきたいです。行事に関しても、保護者の方々のご理解をいただきたくさんの児童が興味をもって参加しています。引き続き家庭学習や行事の参加につきまして、ご家庭でもお声かけやサポートなどご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の結果

昨年度と比べ、大きな変化はありませんでした。高い評価となったものは、「楽しく学校に通うこと」で 8.4 p です。わずかですが上昇したのは「学校・PTA・地域の行事に参加すること」6.9 p (0.3 p 増) でした。

実現度が下降した項目は「自分の思いや考えを書くこと」6.4 p (0.3 p 減)、「『早寝・早起き・朝ごはん』・排便・歯磨きの習慣を付けること」7.3 p (0.3 p 減)、「教職員に気軽に相談できること」6.7 p (0.3 p 減) でした。これらは昨年度の 9 月に行った第 1 回の結果と比べて 2 月の第 2 回の結果で上昇が見られた項目です。例えば、生活習慣に関する項目においては、生活チェックの取組により一時的に上昇しても、1 年を通して定着するまでには至りません。実現度の上昇と定着を目指し、何事にも年間を通して継続的に目的をもって取り組んでいけるような取組を企画し、保護者の方々のご協力をいただきながら進めていきたいと考えています。

地域の結果

今回高い評価項目は、「学校便り・ホームページ等で情報を発信すること」8.7 p (0.4 p 増)、「学校が児童の学力向上に向け取り組むこと」7.6 p (0.5 p 増)、「学校の教育環境が整備されていること」7.6 p (0.5 p 増) でした。また、課題として挙げることが多い「進んであいさつすること」が 6.3 p でした。

低い評価項目は「場に応じた言葉づかいをすること」ですが、昨年度後期から 0.5 p 増の 5.9 p でした。場に応じた言葉づかいに関しては、児童は周りの友だちや大人の影響を受けます。つまり、教職員や保護者といった身近な大人がよい手本となる必要があります。また、児童の中で気になる言葉づかいがあれば適切に指導することも大切です。それらのことを常に意識しながら指導にあたっていきたいと考えています。

教職員の結果

「楽しく学校に通うこと」が 8 p と高い評価となりました。また、「子どもに関わるトラブルを家庭と密に連絡をとり、解決すること」が 8.1 p でした。今年度、子どもたちが楽しく学校に通うことができるように教職員一同、様々な面で工夫して取り組んでいます。その成果が実現度に表れており、また、何かあったときにはすぐに担任や学校が家庭と連絡を取り合い解決することを意識しています。そして、学校全体で情報を共有し、次の指導に役立てています。

しかし、昨年度と比べ、全体的に評価は下降傾向にあります。我々教職員は 1 年間を見通して計画的に教育を行っています。この第 1 回の評価の時点ではまだ年度途中ということもあり実現度については厳しく評価をしている部分があります。第 2 回の評価の際には、1 年間を通してどうであったかをふり返り、確実に成果が挙げられるように、教職員一同これからも努力していきます。



今後の課題について

確かな学力

今年度は、主に算数科を切り口として、学力向上を目指した授業改善に取り組み、学ぶ楽しさやわかる喜びが感じられる授業を実践し、自ら学び、共に高め合う学習に向かう児童の育成を目指しています。8 割以上の児童において学習がよく分かるとしています。しかし、保護者、教職員ともに実現度は 7 割程度と児童との差があります。「聞くこと・話すこと・書くこと」についても保護者、教職員と児童とで実現度に差があります。今後は、学力の定着をはかる指標として全国学力学習状況調査やジョイントプ



ログラムの結果を分析し、児童の実態をより細かく把握し、聞く、話す、書くといった個々に応じた学力の定着を目指して取り組んでいきたいと考えています。

また、読書習慣の実現度が他の項目に比べ低くなっている課題があります。しかし、年々わずかではありますが実現度は上昇傾向です。学校図書館で貸し出す本の冊数や休み時間の様子からも児童が読書に親しんでいることが分かります。そこで、家庭でもメディア機器（テレビ、ゲーム機、パソコン、インターネット、スマートフォン、携帯電話など）を使わない時間を設け、その時間に読書をしたり、読み聞かせをしたりするなど家庭での過ごし方を考えてみてはいかがでしょうか。

豊かな心

児童、保護者、教職員共に楽しく学校に通うことに関して高い評価をしています。今後も児童一人一人を教職員全員で見守り、いじめに関するアンケートやクラスマネジメントシート、個々の教育相談などを継続して行い、一人一人の子に寄り添い、子どもたちが安心して自分の力を最大限に発揮できるような学校生活を送れるように努力していきます。

あいさつに関しては、今年度も大人が手本となって挨拶をすること、CSS など授業でスキルを身に付けること、新たに児童会と連携したあいさつ運動に取り組むことで意識を高められるようにしていきます。

健やかな体

「運動に親しませ、運動能力を向上させること」は、児童、保護者、地域、教職員それぞれに実現度にばらつきが見られます。児童の体力向上を目指し、今年度は月に 1 回程度、休み時間にクラス単位で運動する「体力アップ」の取組を始めました。すると、身に付けた技能や運動を体育科の学習や休み時間の遊びに取り入れている姿が見られるようになりました。また、冬場の朝ランニングなど定期的に運動することを継続して取り組んでいます。

「危険から身を守り安全に生活する」項目に関しては、10月10日に住吉安心・安全町づくり協議会主催の「住吉こども110番のいえウォークラリー」を行い、校区にある「住吉こども110番のいえ」を知り、交流を深めるとともに、助けを求める練習をすることができました。これからも、保護者・地域・学校が協力して子どもの安全意識をより高められるよう、よろしく願いいたします。

記述欄より

保護者の方々には、「ご家庭で効果的であった取組」について尋ねました。読書に関しては、保護者も一緒になって読んだり読み聞かせをしたりしているという意見をたくさんいただきました。また、児童のやる気ができるように一緒にルールを決めたり、その子にあったやり方を考え実践されたりといろいろと試行錯誤されているようです。

また、学校に対するご意見もいくつかいただきました。それぞれの意見に関しては、担任を通じてお話しできればと考えております。

今後ともいただいたご意見を真摯に受け止め、教職員一同一丸となって教育実践を重ねて行きますのでよろしくお願いします。

学校質問紙回答へのご協力、ありがとうございました。

